

## 機器紹介 >>>>

平成28年度に設置した機器を紹介します。

公益財団法人JKAの補助金交付により、以下の2機種が整備されました。

### 「顕微赤外面分析装置」

#### 【概要】

物質（特に有機化合物）固有のスペクトルを調べることで定性分析を行う装置です。赤外顕微鏡を用いることで微量試料の分析も可能です。さらに、イメージング機能を用いて、複数の成分がどのように分布しているかを可視化することができます。

【メーカー】：日本分光株式会社

【型式】：FT/IR-4700, IRT-5200

#### 【仕様】

- (1) 測定波数範囲：7800～350cm<sup>-1</sup>
- (2) 最高分解：0.4cm<sup>-1</sup>
- (3) S/N比：35000:1（FT/IR-4700），8000:1（IRT-5200）
- (4) 検出器：DLATGS, MCT-M
- (5) ビームスプリッタ：Ge/KBr
- (6) 光源：高輝度セラミック光源



顕微赤外面分析装置

### 「塩乾湿複合サイクル試験機」

#### 【概要】

塩乾湿複合サイクル試験機は、めっき品や電子製品、金属製品などの耐食性を評価する装置です。塩水を噴霧させたり温度・湿度を高くすることで腐食しやすい環境を作り、腐食を促進させることができます。腐食度合いにより製品が正常に機能するか確認ができます。

【メーカー】：スガ試験機株式会社

【型式】：CYP-90

#### 【対応可能な試験】

- (1) 塩水噴霧試験（JIS Z2371及びISO9227）
- (2) 複合サイクル試験（JIS K5621及びJASO M609）
- (3) 乾燥試験（RT+10～70±1℃, 25±5%rh）
- (4) 湿潤試験（RT+10～50±1℃, 60～95±5%rh）



塩乾湿複合サイクル試験機

12月13日に当該機器の周知と利用促進を目的に、当センターで説明会を開催し、41名（31機関）の参加がありました。



実演の様子